授業科目　芸術

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・栄養・ｽﾎﾟ・看護・社会
丹治嘉彦	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】
人間が生きていく中で、芸術というものがいかに機能しているかを実技と理論を通して多角的に学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】
芸術がたんにお飾りとして位置づけられているのではなく、人間社会の中でダイナミックに機能し、そして生きる糧となっていることを授業の中心課題とする。またこのことを実践するために簡単なスケッチやデッサンを行う。　また学外授業として美術館で作品展等を鑑賞して立体的に芸術の存在意義を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス		
2	芸術・美術の意味		プリントを使っての学習
3	芸術・美術の意味		ＤＶＤを観ながらの学習
4	芸術・美術の意味		ＤＶＤを観ながらの学習
5	実技		校内スケッチ
6	実技		校内スケッチ
7	実技		校内スケッチ及び講評会
8	生活の中に入るこむ芸術		現代美術の意味をスライドを通して学ぶ
9	生活の中に入るこむ芸術		ＤＶＤを鑑賞しながらの学習
10	美術館展覧会鑑賞		美術館において学芸員の解説をもとに鑑賞会を行う
11	社会と美術		美術館以外で展開しているアートを学ぶ
12	社会と美術		美術館以外で展開しているアートを学ぶ
13	社会と美術		美術館以外で展開しているアートを学ぶ
14	これからの社会における美術の意義		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
レポート、スケッチブックの提出、および出席を評価の基準とします。	

全科共通科目　教養